

一会の紹介ー

昨年12月、「もし、アリーナが向日市に来たらどうなるの?」との思いから市民有志が集まり、「市民の声を集めよう」「みんなで考えてみよう」とこの会が発足しました。

1月には「市民シンポジウム」、6月にも市民集会を開催。2月以降、京都府や向日市に対し再三にわたり要望書を提出。アリーナ計画をすすめる前提として、市民への情報提供と対話、予想される交通渋滞・混雑の解決策や生活環境の保全などを示すようつよく求めてきました。

私たちの会では、この問題を一緒に考え、行動する人の参加を求めています。

ぜひ、あなたも参加ください!

(連絡先は以下の表記をごらんください)

一会の取り組みー

3月14日、西脇知事は突如「アリーナは向日市に」と発表。その後も8000席以上の収容数や340億円の整備費、28年度の完成時期などをメディアに発表。さらに5月2日には詳細な内容の事業者公募を実施するに及びました。この間、市民には何の説明もなく、私たちも何度も要望書を提出しましたが、何ら回答はないままでした。

こうした中、私たちは5月から「向日市にアリーナってどう思う?」のアンケートの取り組みや「アリーナ建設?」のポスター張り出しを行ってきました。

6月に入ってようやく「住民説明会」が開催されましたが、参加者からは手続きに対する不満、交通渋滞、生活環境悪化を懸念する声が相次ぎました。

以上の経過から、私たちは事業者公募の提案内容は、市民への事前説明を怠り、市民の意見も聴かずに決めたものであり、いったん撤回し、再提案するよう6月26日付けで京都府に対し要望書を提出したところです。

ー私たちがもとめることー

- 1) 住民主体が基本。住民説明会や懇談会をいろんな日時、場所でやってほしい。住民の声を聴いてほしい。
- 2) アンケートや住民説明会では、多くの市民から周辺道路の渋滞・混雑、アクセスや駐車問題などを心配する声があがっている。周辺道路の整備・拡幅と歩行空間の確保、駐車場の整備を実現されることなくアリーナ建設は認められない。
- 3) アリーナ敷地内にこどもたちが自由にボール遊びのできる広場や市民が憩える公園を作してほしい。
- 4) 周辺の良い住環境との調和、景観の保全を図ってほしい。
- 5) アリーナ整備、周辺整備など関連する事業の財政計画と向日市の負担額を明らかにしてほしい。

以上の5項目について、アリーナ計画を進める前提として市民に明らかにすること。これらを示さないまま計画を進めることは認められません。

向日町競輪場再整備とアリーナ問題を考える会
会代表：中村隆一（京都市立芸術大学名誉教授）
(問い合わせ先) TEL: 090-6233-3783 (橋本)
発行：2024年7月

懇談会のお知らせ 「アリーナ建設 あなたはどう思う?」

- ・7月20日(土)上植野コミセン 午後2時～4時
- ・7月21日(日)向日コミセン 午前10時～12時
- ・7月28日(日)鶏冠井コミセン 午前10時～12時
- ・7月28日(日)寺戸公民館 午後2時～4時
- ・8月 3日(土)西向日コミセン 午前10時～12時
- ・8月 3日(土)物集女公民館 午後2時～4時



初のアリーナ説明会

期待の声ある一方で

市民の疑問にはゼロ回答



6月7、9日の2日間、アリーナ整備に関する京都府による初めての住民説明会が開かれました。当初予定をはるかに上回る402人の参加があり、市民の関心の高さが示されました。

京都府の説明はわずか10分たらずでした。具体的な説明を求める質問には「公募事業者の提案を受けてから」という答弁に終始。道路整備を問う声には「一朝一夕には行かない」との答弁で、市民の疑問はかえって深まりました。また「もっと多くの場所で説明と意見を聞く場を持ってほしい」との声が多数出されました。

【◆今日の説明ではわからない】

●「住民と一緒に作る」と言うが、なぜ私たちの意見を聞いて来なかったのか。

●どんな施設かさっぱり見えない。事業者任せでなく、京都府や向日市のプランを聞きたい。

【◆交通渋滞・道路整備は?】

●交通渋滞など市民の生活環境への影響を本当に心配している。今後の説明の予定を知りたい。

●競輪場周辺の道はほとんど府道。多くの来場者をどうさばくのか。

【◇まちの発展にとって必要】

○まちの発展にリニューアルが必要。市民の要望を事業者に伝えて反映させ、問題がおきれば対応できる仕組みを要望する。

○スポーツだけでなく文化的なことも考えてもらっていると思う。利用しやすい使用料にしてほしい。

【◇競輪場のイメージを変えて!】

○賛成。今の競輪場のまま置いておいて何がプラスになるのか。

○アリーナに賛成。競輪場最盛期は大変でブラックイメージがあるが、そうならないようにしてほしい。

【◆アリーナでなく市民のために】

●絶対アリーナなのか?公園や子どもの遊び場を作って欲しい。向日市には猫の額ほどの公園しか無い。

●国際大会の会場とかより、市民が手軽に安心して利用できる施設にしてほしい。

【◆向日市民をばかにしないで!】

●北山に蹴られたから、じゃあ向日市でって安易な考えでしょ。向日市民をばかにしないでほしい。

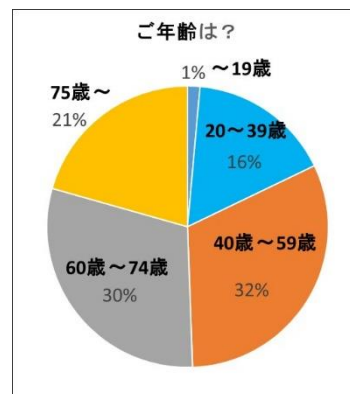
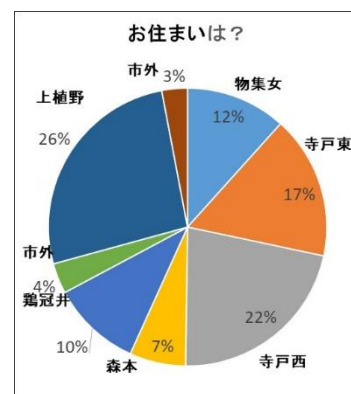
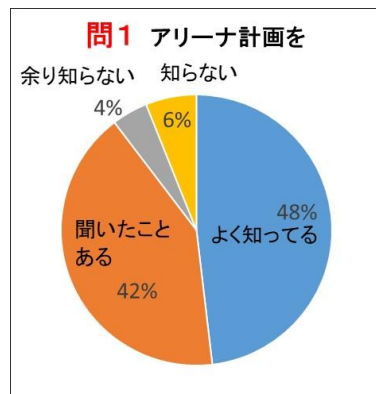
●競輪場のすぐ横に住んでいるが、目の前にアリーナがそびえ立つとは。住民の声を聞かずに決めている。

「向日市にアリーナってどう？」市民アンケート結果の報告

京都府が向日町競輪場にアリーナを整備する計画に対し、私たちは出来るだけ多くの市民の皆さんの声をお聴きし、今後の取り組みに生かしていきたいと考え、約2カ月間にわたって市民アンケートを実施しましたので報告します。

◆アンケートの設問

Q 1：向日町競輪場に競輪施設の他にアリーナをつくる計画があることをご存じですか？



◆実施期間：4月24日～6月26日

◆実施方法と回答数：

①紙のアンケート：261人

②WEBアンケート：825人

③計1076人

Q 2：今回の西脇知事の

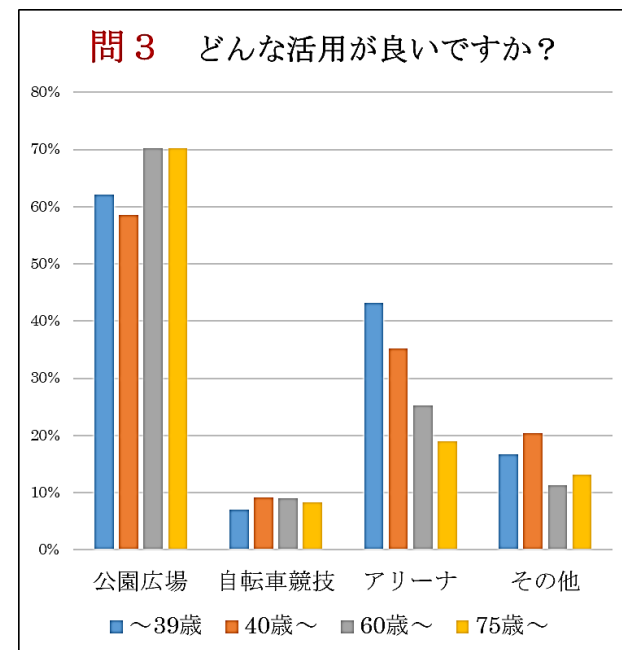
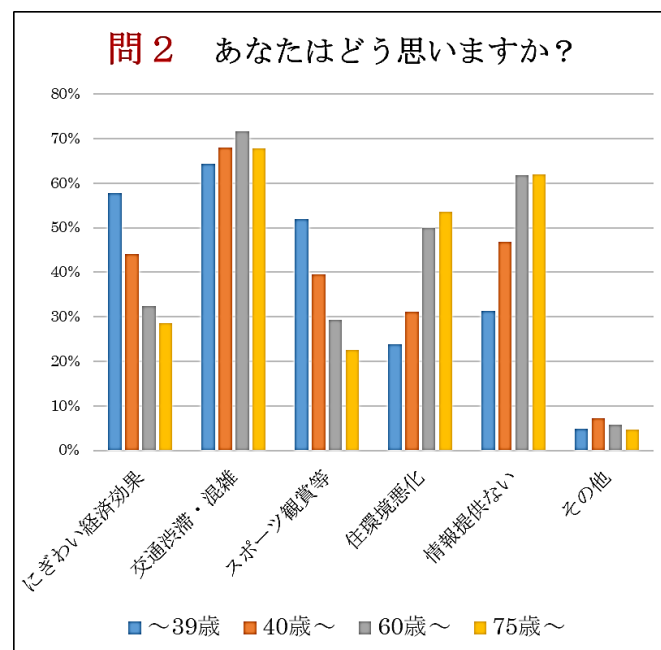
「向日町競輪場をアリーナ候補地にする」という計画について、どのようにお考えですか？

該当項目に☑を付けてください（複数回答可）

Q 3：競輪場の余剰地についてアリーナ建設が提案されていますが、あなたはどのように活用されるのがいいと思いますか？（1つ選択）

Q 4：ご意見、ご要望があれば、お聴かせください。

◆回答状況はグラフを参照



◆アンケート結果について

- （余り）知らない1割、聞いたことがある4割と、半分の方が余り良くご存じ無いという状況です。1ヶ月前の中間報告と比べても余り変わっておらず、市民に内容が伝わっていないようです。
- 向日町競輪場をアリーナ候補地にすることに対して、「交通渋滞や混雑が心配」が全年代を通してトップで7割強、6割弱が「住民の声が反映していない。情報提供がない」。「にぎわいと経済効果が生まれる」「スポーツ観戦、イベント鑑賞ができて便利」はそれぞれ3割強でしたが若い世代ほど多く、40歳未満世代では2位、3位を占め、5割前後の回答でした。
- 競輪場余剰地の活用方法については、全年代を通じて「市民が憩える公園、広場」がトップで7割弱。次いでアリーナが3割弱でしたが、40歳未満世代では4割強の回答でした。
- 総じて、若い世代ほどアリーナへの支持が高いが、それ以上に「公園や広場」を望む意見が全年代を通じて高いこと、「交通渋滞・混雑」が全年代を通じて最大の関心事であることがわかりました。
- 516人の方から個別のご意見が、154人の方から活用方法に対するご提案が寄せられました。

※ お寄せ頂いたご意見・提案は、アンケート結果と合わせて、すべて当会のホームページに掲載しています。（詳しく知りたい方は、左下のQRコードを読み取ってください）

アリーナ計画とは？

～概要と今後について～

◆何のため：スポーツ庁と経産省がまちづくりや地域活性化を図るとして「スタジアム・アリーナ改革」を進めています。それは、スポーツをするための施設から見ることを主目的にした施設とし、その収益性を高めるために、スタジアム・アリーナは地域住民がスポーツをするための施設とは別として、プロスポーツ招致、コンサートの開催などにより、高い客単価で収益が上がる仕組みづくりを目指しています。

◆この向日市で計画されているアリーナはどのようなもの？：

- ・建設費用：2022年時点の北山エリアでの175億円の見積もりが今年の向日市での見積もりでは343億円に倍増！（これを京都府が30年間の分割で払う）
- ・規模：（バスケットボールのBプレミアリーグ等に対応する）
- ・座席数は8000席以上のメインアリーナとサブアリーナ（200席程度）、練習場
- ・貴賓室（1室）、VIPラウンジ（750㎡）、スイート（12室）、VIPエリアに飲食を提供するキッチン・パントリー
- ・レストラン・カフェ等の飲食施設
- ・来賓、関係者や選手用、テレビ中継車など目的に応じた広さの駐車場

市民も気軽に使えるのかなあ？

◆アリーナへのアクセス方法や周辺の交通対策：

- ・近隣への対応や周辺との連携を丁寧に行うこととし、また、公共交通機関での利用を促進するため、シャトルバス等の運行を行うとともに、最寄りの駅から徒歩による最短経路以外の来場及び退場の手段を確保の上、十分な案内や周知を行うこと。

◇京都府は、アリーナの規模については詳細に記述しながら、懸念される交通対策としての道路整備等については口を閉ざし応募した事業者に丸投げしています。

◇このまま計画が進めば、にぎわいどころか、被害や迷惑を数十年にわたり向日市民が被ることになります。

★ホームページのQRコード⇒

